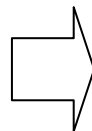


「訪問介護に関する２級課程」と「介護職員初任者研修」の比較

1 カリキュラム

訪問介護に関する２級課程

科 目	時間数
社会福祉の基本的な理念及び福祉サービスを提供する際の基本的な考え方に関する講義	6 時間
老人保健福祉及び障害者福祉に係る制度及びサービス並びに社会保障制度に関する講義	6 時間
訪問介護に関する講義	5 時間
老人及び障害者の疾病、障害等に関する講義	14 時間
介護技術に関する講義	11 時間
家事援助の方法に関する講義	4 時間
相談援助に関する講義	4 時間
医学等の関連する領域の基礎的な知識に関する講義	8 時間
福祉サービスを提供する際の基本的な態度に関する演習	4 時間
介護技術に関する演習	30 時間
訪問介護計画の作成等に関する演習	5 時間
レクリエーションに関する演習	3 時間
介護実習	24 時間
老人デイサービスセンター等のサービス提供現場の見学	6 時間
合 計	130 時間



介護職員初任者研修

科 目	時間数
職務の理解	6 時間
介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間
介護の基本	6 時間
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9 時間
介護におけるコミュニケーション技術	6 時間
老化の理解	6 時間
認知症の理解	6 時間
障がいの理解	3 時間
こころとからだのしくみと生活支援技術	75 時間
振り返り	4 時間
合 計	130 時間

2 修了評価の導入

「介護職員初任者研修」では、上記カリキュラムとは別に、研修の全課程終了後に 1 時間程度の修了評価を行い、修了評価の結果が所定の水準を超えた者のみに修了証明書を交付することとされました。

3 演習と実習

介護福祉士課程への連続性を考慮し、生活支援技術の演習の時間数が大幅に増えるとともに、訪問介護に関する 2 級課程において必須科目とされていた実習（30 時間）については、介護職員初任者研修では「効果的な研修を行うために必要があると考えられる場合に活用することも可能」とされました。

4 事業者情報の公表

「介護職員初任者研修」では、受講者の募集に際し、ホームページなどで「研修スケジュール」「科目別シラバス」「講師情報」「受講費用」等を公表することが義務付けられました。（「5. 介護職員初任者研修事業者指定申請の準備のために」の「(4) 事業者が公表すべき情報」を御参考ください。）